

村半利活用検討会（令和7年度第3回）結果報告

日時 令和7年12月22日（月）16時～17時

場所 村半 大会議室

出席者 検討会メンバー5名、岐阜大学地域ラボ・高山 特任准教授 中畑様
事務局(総合政策部総合政策課)4名

内容

1 協議事項

(1)利用状況等について

- ・令和7年10月、11月の利用状況や占用利用実績等について説明
- ・今後の占用受付について
- ・撮影を主目的とした村半の利用について

(2)その他

- ・岐阜大学地域ラボ・高山 活動実績報告
岐阜大学社会システム経営学環 地域ラボ・高山
特任准教授 中畑 久美子 様

<意見交換、質疑> メ:構成メンバー、事:事務局

(1)協議事項に対する意見等

○今後「撮影」を主目的として利用する場合に申請者や依頼内容によっては経費を徴収することについて

メ:徴収する経費が1時間100円は安いと思う。

事:今後、営利目的の事業者さんであっても空いている時間に利用いただきPRしてもらえればと考えている。

事:使用料が発生した場合には金銭の授受はどのように行うのか。

事:村半では直接やり取りを行わず、後日納付書を利用者にお送りする。

メ:ドラマや映画のロケで村半の全室を利用したいとなった場合はどうするのか。

事:利用者による利用に支障のない範囲で利用いただくことになるため、全館貸し切りの大がかりな撮影の希望があった場合はお断りをする場合もあると考えている。

メ:今のところはカメラの撮影に限るのか。

事:そのとおり。どこまで商業利用かの判断が難しいところもあるため、今回「使用者」として使用を許可することについては、まずは利用目的が撮影の場合で、衣装替えや化粧直しなどで1部屋貸切りたいという希望があったときに限って許可していきたいと思う。今後、撮影以外の商業利用についても広げて許可していくかは利用状況をみながらまた改めて相談したい。

メ:トラブルが出ることも考えられる。文化会館は以前は販売行為を禁止していたが、徐々に販売もできるよに変更している。いろいろと問題も起きている。

事:村半の中で販売行為を認めることになると、主な利用者である学生の中でも中学生や小学生といった判断能力が乏しい子どもたちへの影響が想定されるため慎重な判断が必要だと思う。

事:大前提として中高生など学生の利用はこれまでどおり対応する。学生の利用が無い時間など部

屋が空いている場合に限定的に認めていきたい。現在相談がある案件も、地元の会社が自社のPRをしたいというもので、地元の企業という点でこのくらいの協力は差支えないのでは思っている。あくまでも利用者の利用を優先的に考えたうえでの限定的な取扱いとしていきたい。その場合は「使用者」という利用区分にあてはめて対応していきたい。

メ:村半は駐車場も遠いしあまり利用したいという事業者はいないかもしれない。文化会館では全国から利用申請がくる。靈感商法から怪しい利用申請もこれまであったし警察にも相談したことがある。ひょっとしたらそのような利用も紛れ込むことも無いとはいえないので、そのあたりも注意してほしい。

メ:整理をさせてほしい。今回は商用利用に関する撮影のすべての事例についてこれまでの取扱いを変更するという事か。

事:報道機関さんによる風景写真の撮影や、カメラマンさんからの依頼による成人式、結婚式の撮影は変更なしでこれまでと同じように撮影いただける。商用利用で部屋を使いたいというときに「使用者」として費用をいただいて使ってもらおうというところが新しいところ。

メ:経費の徴収について変わったという理解で良いか。

事:占用もこれまででは許可していなかった。これまでそのような相談が無かったということもあるが、撮影だけの許可からこれからは占用も認めて行く。

メ:1時間100円は安いと思う。あっても無くても同じ額だと思うし手間がかかるだけな気もする。他の施設と同じくらいの費用に変更しても良いのではないか。また、撮影については自社のPRが主目的のものもあると思うが、映画などの高山市の宣伝になるような撮影もあると思う。市として応援したいような内容の場合は閉館することもあっても良いと思う。高山市にとって良いことだと思う。

事:村半の設置目的として、地域全体の活性化や持続可能なまちづくりにつなげることであり、そこに即した内容であれば占用もできるし無料で利用ができる。地域の活性化に適合する範囲がどこまでかといった判断が難しいところ。その部分の判断のひとつとして営利団体さんからの申請を「使用」にあてはめていくことはどうかと考えた。市としてPRしたい内容であれば占用いただいてでも使っていただくことも良いかもしれない。そのあたりの線引きが悩ましいと思っている。

メ:次代を担う若者がまちなかに集うというこの村半の大切な目的があるが、若者が集えなくなるということになるのは大反対である。

事:いただいたご意見も参考にさせていただき、今後も慎重に個別に判断をしていきたい。また具体的な事例がある場合はまたこの場で相談させていただきながらすすめていきたい。

○岐阜大学地域ラボ・高山 活動実績報告について

メ:以前屋台の写真が無いとお話があったが、その後どうなったか。

メ:その後の動きはわたしは聞いていない。各屋台組でそれぞれ撮影をしているところもあるかもしれないが、特別積極的には動いていない。

メ:プロのカメラマンが撮影するとか、観光課と文化財課が一緒になって撮影してはどうか。

メ:屋台の写真については事あるごとにいろんな方に言っている。文化財としてアピールする上で、写真を残すということも大事である。過去のものが残っていれば良いが、せめて今からでも現在の形を記録して欲しいと思う。

メ:屋台の修理の際に撮影はしているが、有効的に活用ということではできていない状況。

メ:風景写真はあるけど、屋台には金具、幕、彫刻とあるため、それらの写真も一冊にまとめると良いのでは。その写真がない。

メ:祭のパフレットに使用している屋台の写真は向きがばらばらのため統一して撮影をした方が良

いと思っはいたが、祭当日に撮影することが難しく、そこは課題である。

メ:何もないときに屋台蔵で撮影して、文化財として蓄積していくことは大切な仕事だと思う。

メ:屋台修理の際には修理した部分を撮影している。

メ:現在、屋台会館の事業として学芸員を含めた5人で屋台資料の調査を村半を利用しながら進めている。各屋台組の資料を出してもらい写真に撮って残す作業をしている。現在3つ目の屋台組を調べているが、市に話しても進まないため、自分たちで動いている。どんどん資料が無くなっている現状もあるため、市全体で考えてもらいたいと思う。

メ:文化財課では、今年度各町村役場の文書の整理を進めている。資料整理を行わないと公開ができないということで、保存から公開・活用へといった流れへの対応を進めているところ。

メ:ようやく最近になって少し動き出したように思う。

メ:地域ラボの大学生がこども向けに作成した「八幡祭パンフレット」は良かった。読んでみて知らないこともあり勉強になった。

メ:昭和30年代に調査したものがあるが、前に調べてあるものを見て次の本が出るということがここ70年続いている。原本へ戻ることがなかなかできていない。コピーもデジカメも無い時代にやっていることなので、原本を見ると違うということがあり、間違っものが連続して出てしまうこともあってそこが残念に思う。ただ今回のパンフレットは良いものができたと思う。写真だけが残念。

メ:目先の観光の利益とかそれだけを考えると動くこうなってしまうと思う。愚直なぐらいの理念や哲学のある人が上に立たないとだめだと思う。

メ:地域ラボが今年八幡祭で実施された参加型ジグソーパズルアートで集まった募金は約11万円だが、一人当たりいくらくらい募金されたのか？

地:募金額は任意としていたが、できれば300円以上入れてほしいと呼びかけした。1,000円や10,000円も入っていた。

メ:募金の際に使用目的などは話されたか？

地:屋台の維持保存のために活用させていただくと説明してお願いした。

以上